



**【復旧に取り組む日本を覚えて】**

ハバクク1:2

主よ。私が助けを求めて叫んでいますが、あなたはいつまで、聞いてくださらないのですか。私が「暴虐。」とあなたに叫んでいますのに、あなたは救ってくださらないのですか。

ルカ18:1

いつでも祈るべきであり、失望してはならない・・・。

1テサロニケ5:16~17

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。  
すべてのことについて感謝しなさい。

● 神様の御心は日本人一人ひとりが救いに与ることです。これは御言葉によってはっきり示されている事実です。また人が救われるために神様が「執り成し」を用いられることも事実です。神様は先ず第一にご自分の命を犠牲としてささげた御子なるイエスの執り成し・・・「父よ。彼らをお赦してください。」により人々に赦しと救いを与えられました。そして更に救霊(きゅうれい)という「栄光の務め」にクリスチャン一人ひとり

も召して下さっているのです。  
● クリスチャンはキリストの身体の一部とされました。そして頭であるキリストが祈られたように私たちも「父よ。彼らをお赦してください。」と祈るのです。人々の目が開かれて彼らが神の真理を知り、心が柔らかかにされ、従順へと導かれるよう具体的に祈るのです。主は上記の命令のように、私たちに繰返し、諦めず、失望せず「祈り続けること」を命令されておられます。祈りましょう！

**【 被災地のための祈り 】**

- 全知全能の主なる神、天の大祭司主イエスを崇めます！
- 行政・関係省庁：首相、自衛隊、警察、消防、医療、ボランティア
- 被災地の復興のため：農家、漁業水産関係者、多くの企業の工場
- 被災地の子供たちのため：学校の復旧、霊的な目が開かれるように
- 原発の問題の収束のため、修理のために働く人々、避難生活者
- 日本の教会が一致して地の塩、世の光として用いられるように
- 日本人が偶像礼拝を悔い改め、真の神に立ち返るように。
- 私たちと直接関わりがある人々のために。

福島第一聖書バプテスト教会、神栖めぐみキリスト教会  
水戸下市キリスト教会のために。



## 【ロイヤル・ウェディングに思う】

- 金曜早朝5時に起き、娘と共にウィリアム王子とキャサリン王妃の結婚式を一部始終見た。荘厳なウェストミンスター大聖堂に於ける英国国教会での本場「キリスト教式結婚式」であった。NBCは余計な解説を一切加えず、式をそのまま放映したが、私は改めてカンタベリー大主教が語る式文の一言一言に感動を覚えていた。何度「イエス・キリストの御名によって」と語られたことだろう。福音ははっきりと語られ、結婚に関する素晴らしい聖書の真理が次から次へと語られていった。



自分も司教と何度も同じ立場に立って結婚式を行って来たので尚更、その言葉の意味が深く入って来た。新郎新婦は大司教が語る一言一言に真摯に聞き入っているようであり、若い御二人が神に信頼して幸せになって行って欲しいと真剣に願わされ、私はテレビの前で祈っていた。

- そのようなわけで、結婚式を見ながら「語られていく言葉が「字幕」に出ていたら」と何度も思わされた。逆に字幕に出ていたら、それに反発を覚える人々も大勢いるだろうとも思った。完璧なキリスト教式結婚式でありながら、これが行われているのは大方世俗的な英国においてである。聖書を神の御言葉と信じ、十字架と復活とを信じ、神への従順を第一とするクリスチャンは英国においてはもはや少数派である。ということはこの式に参加しながら、語られている言葉を何とも思わない人も大勢いたということである。聖書も信仰もあからさまに否定し、さげすむ人々も列席しているのが見えた。英王室も離婚が多い…。『主よ、主よ。』という者がみな天の御国に入るのではなく、天におられる父のみこころを行う者が入る」との主イエスの御言葉が頭をぐるぐると回っていた。
- 日本の支える会のK姉に上記のようなことを簡単に伝えたところ、姉からは「本物のキリスト教の結婚式」であることはあまり伝わらない編集で見せられました。お説教や祈りの声は日本のテレビのアナウンサーやコメンテーターの声で全く聞こえなかったり、聞こえた部分も日本語に訳される事はなく、英語が分からない私には全くといいほど分かりませんでしたわ。」という返事が戻って来た。無理もない。しかし、この結婚式を通して、私は改めて「宣教のチャレンジ」を突きつけられたように思わされた。主イエスよ、助けてください！